

## マレーシア研修を通して

マレーシアへ行く前、私はとても楽しい気持ちと同時に大きな不安も感じていました。言葉や文化の違いの中でうまくやっていけるのか心配でした。特に英語にはあまり自信がなく、現地の人としっかりコミュニケーションを取ることができるのかという不安がありました。

しかし、その一方で「実際に海外の文化を自分の目で見てみたい」「日本とは違う環境を体験してみたい」という期待も強くありました。事前学習を進めていく中で、マレーシアが多民族国家であり、さまざまな文化や宗教を持つ人々が共に生活している国であることを知り、ますます興味を持つようになりました。準備を進めていく中で、少しずつ「この研修を大切な経験にしたい」という気持ちも強くなっていきました。不安はありましたが、それ以上に「新しい世界を知りたい」という思いを持って、マレーシアへ向かいました。

実際にマレーシアを訪れ、さまざまな場所を見学する中で多くのことを学びましたが、特に印象に残っているのは現地の高校を訪問したことです。現地の生徒たちはとても優しく、純粋で、寛大な心を持っている人たちでした。私たちを出迎えるために、前日の夜遅くまでリハーサルを重ねて準備をしてくれていたと聞き、その思いやりにとっても感動しました。

私は英語が得意ではありませんが、それでも生徒たちは笑顔で話しかけてくれました。そのおかげで、言葉の壁をあまり感じることなく交流することができました。さらに、手紙やプレゼントを用意してくれたり、伝統音楽や伝統舞踊を披露してくれたり、たくさんのおもてなしをしてくれました。それらはすべて心のこもったもので、とても素敵なプレゼントでした。

また、交流の中で現地の高校生の一人と親友と呼べる存在にも出会うことができました。短い時間ではありましたが、お互いの国のことや学校生活について話し、とても楽しい時間を過ごすことができました。この出会いは私にとってとても大切な思い出です。

今回の研修では学校訪問だけでなく、宗教や文化など、日本とは異なる価値観を実際に肌で感じることもできました。また、一緒に参加した都立高校六校の生徒や引率の先生方、看護師さん、搭乗員さん、東京都教育委員会の方々、現地ガイドさん、バスの運転手さんなど、本当に多くの方々との出会いがありました。

特に印象に残っているのは、バスで移動している時間に先生方から聞いたさまざまなお話です。これまでの人生や職業、体験してきたこと、その時どのような思いを持っていたのかを聞くことができ、「こんな生き方もあるのだ」と新しい考え方を知ることができました。

今回の研修を通して、私は多くの人との出会いやさまざまな体験を通して、自分の視野が大きく広がったと感じています。そしてこの経験は、私にとって一生忘れることのない大切な宝物になりました。これからもこの経験を大切にしながら、広い視野を持って物事を考え、国際的に活躍する看護師という夢を持ち、自分自身を成長させていきたいと思っています。(K.N.)